

ほのぼのスクール活動報告書

2024年11月5日(火)～11月9日(土)

参加者33名、全員が4泊5日で成長しました。

今年度は4つの学校から、33名の参加者が集まりました。参加経験のある子は、他校の友人との再会を喜ぶ一方で、初参加で少し緊張している子もいて、程よい緊張感の中で始まりました。その緊張を、初日は仲間づくりゲームでほぐしていきました。他校や他学年で年齢の壁を越え、これから過ごす仲間との交流を図りました。



2日目からは、青少年の家から学校へ登下校をしました。スタッフが小学生を連れて登校する姿は、ほのぼのスクールの風物詩です。学校から帰宅したらまずは宿題タイム。普段の生活リズムを崩さないよう、学校や塾の宿題を済ます時間をしっかり取りました。勉強が全て終わったら自由タイムとしました。

この日の夜は園庭と創作活動室で夕食作り。今回は鉄板で屋台風焼きそばを作りました。班の中で役割を決め、自分たちで協力して進めていきました。慣れない包丁でたまねぎを切ったり、協力して薪に火をつけたりと、様々な調理工程をこなし、最終的にはどの班も美味しく仕上がりました。「今まで食べた焼きそばの中で一番美味しい」など、嬉しい感想が聞けました。



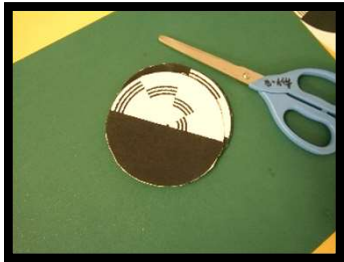
3日目のメインは「武蔵野うどん作り」です。恒例行事となっているうどん作りでは、講師の村田さんをお呼びし、本格的に粉からうどんを作りました。この日は、「粉に水を加え、こねてから踏んで伸ばす」までを行い、一日寝かせる時間をとりました。水を入れる量やタイミング、混ぜ方によって出来が大きく変わるので、子どもたちは集中して取り組んでいました。一つ一つの作業に個性が出て、ほど良い硬さの玉を作ることができ、より一層食べるのが楽しみになりました。



4日目、学校から帰ってきてうどん作りの続きを行いました。玉にした生地を伸ばし、麺切り包丁を使って切りました。この工程が難しく、均等に苦労しました。太く切れたり細く切れたり、差がどうしても出てきてしまいます。普段何気なく食べているうどん作りの難しさ、奥深さを知る機会になりました。うどんを完成させた後は、一足早い「修了式」を行いました。今回は、小学校2校が土曜日の登校があったため、前日開催とし、1日目～3日目までの思い出を振り返るスライドショーや、修了証の授与などを行いました。その後、食堂へ移動して「ナイトパーティ」では、多くの先生方に来館していただきました。参加者が作ったうどんと一緒に食べて交流し、普段の学校生活では見ることの出来ない子どもたちに先生方も驚いていました。



最終日です。全体のうちの20名ほどが登校していきました。残ったメンバーでおもしろ実験教室を行いました。映像が立体的に見える「3Dホログラム」の作成や、白黒の模様が描かれたコマを回すと色が付いて見える「ベンハムのコマ」の作成を行いました。実験教室後の昼食作りでは、パンにアルミホイルを巻いて火を付ける方法でホットドッグを食べました。



【担当者より】

4泊5日、大きな怪我や病気もなく、元気に過ごすことができました。友人が一人もないという参加者からはみんなと仲良くなれるか不安だという声もありましたが、学校や学年の壁を越えて新しい友達ができ、とても嬉しそうでした。今回の宿泊体験を活かし、今までにやれなかった事に挑戦したり、さらに友人の輪を広げたり、少しずつでも成長してもらえればと思います。

今回の活動にご理解とご協力をいただいた各学校の校長先生ならびに先生方、保護者の皆様へは、改めて感謝申し上げます。

来年度の日程は、11月下旬を開催予定としております。ご都合がよろしければ是非ご参加をお願いします。

(文責: 青少年の家 担当 柏原)